



近畿地方整備局	配布日時	平成30年9月7日 18時50分
資料配布		

件名	関西国際空港の排水状況について
----	-----------------

概要	<p>関西国際空港の排水状況についてお伝えいたします。</p> <p>関西国際空港は台風21号により、飛行に影響があるA滑走路・誘導路、乗客が乗り入れを行う第1ターミナル、電源設備が集中する共同溝Bなどの重要施設が浸水し、空港機能が停止する被害が発生いたしました。</p> <p>近畿地方整備局では、台風通過直後の5日より、災害対策本部車（2台）、照明車（1台）、排水ポンプ車（10台）を派遣し、排水作業を行っております。</p> <p>9月7日（金）16:00現在で、概ね260,000m<sup>3</sup>（50mプール230杯分相当）の排水を行いました。その結果、A滑走路・誘導路では約65,000m<sup>2</sup>の浸水面積が概ね解消、第1ターミナルにおいても30cmあった浸水が概ね解消しております。</p> <p>現在、電源設備が集中する共同溝B等の地下部分の排水を継続して実施しております。</p> <p>引き続き、関西国際空港の早期復旧のために、排水活動を継続して行きます。</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民法記者クラブ、みなと記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 地方事業評価管理官 梅敷 寛 防災課 緊急災害対策調整官 勝井 厚伺 電話 06-6942-1141（代表）
------	---

# 関西国際空港 排水作業状況

(9月7日(木) 16:00 現在)

## [各地区の浸水状況]

	当初	現在
・ A 滑走路・誘導路 (地表)	約 65,000m <sup>2</sup>	→ 浸水解消
・ 第1ターミナル	約 5,000m <sup>3</sup>	→ 浸水解消
・ 共同溝 B	約 6m	→ 約 3m

## [排水状況]

- 第1排水区：2台配備、排水量 30m<sup>3</sup>/min (ピット制約に伴う最大排水量)
- 第3排水区：2台配備、排水量 30m<sup>3</sup>/min (ピット制約に伴う最大排水量)
- 第5排水区：1台配備、排水量 25m<sup>3</sup>/min (ピット制約に伴う最大排水量)
- ターミナル：既存の排水ポンプ復旧、ポンプ車2台が待機
- B 共同溝：3台配備、排水量 10m<sup>3</sup>/min (長距離送水のため)

## [照明車・本部車の配置状況]

- 第3排水区：照明車を1台配備 (画像配信)
- 第3排水区：本部車を1台配備

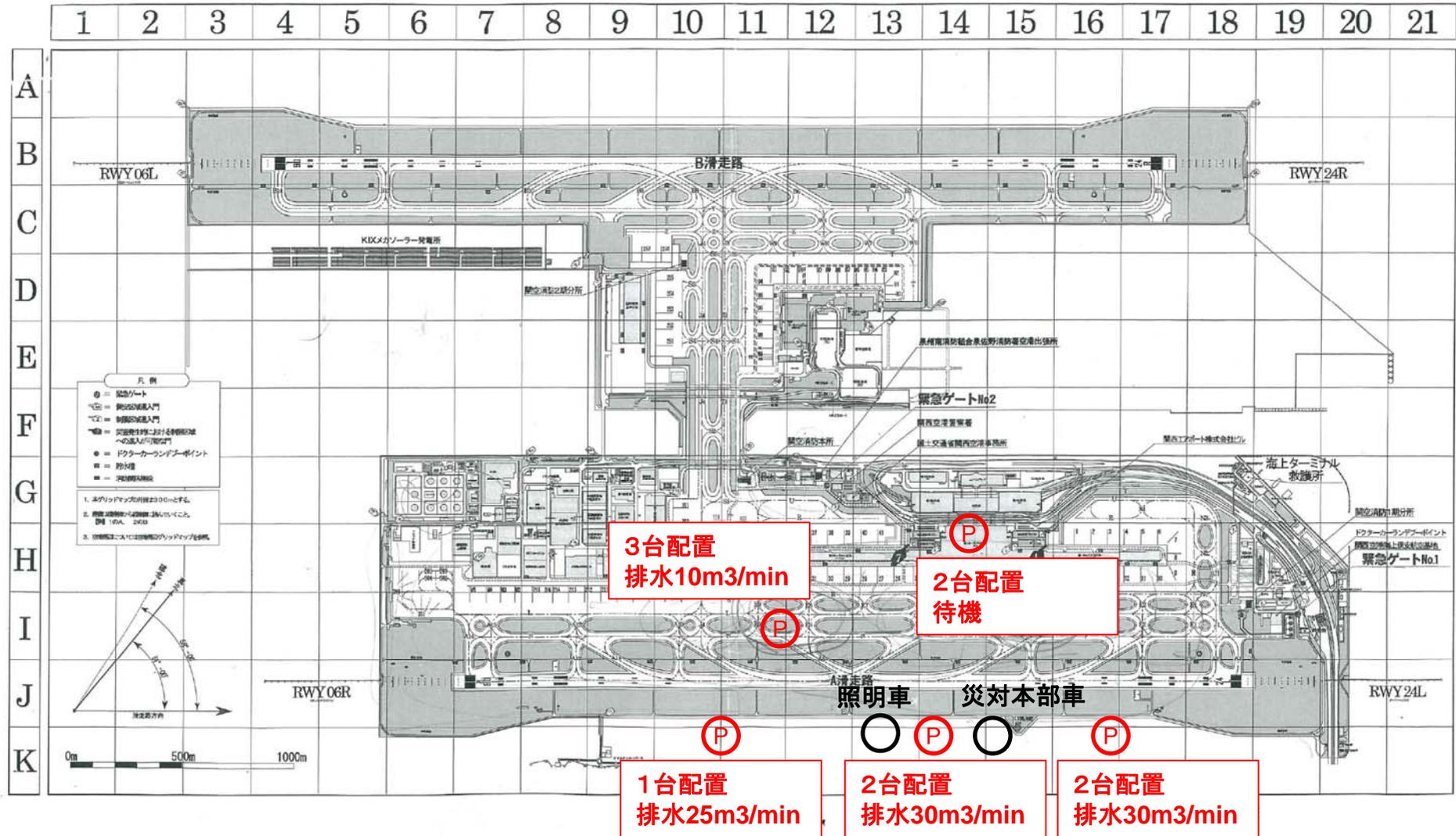
## [へり調査状況]

- ・ 9月4日～9月7日 連絡橋の破損状況、空港の浸水状況を毎日調査



# 排水ポンプ車等配置状況(平成30年9月7日時点)

## 関西国際空港グリッドマップ



# 浸水状況及び排水状況

## 浸水状況



▲9/4 撮影(関西国際空港)



▲9/7 撮影(関西国際空港)

## 排水状況



▲9/6撮影(第1排水区排水作業)



▲9/6撮影(第3排水区排水ピット)